

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

# 街道の歴史を伝える建造物

街道や宿場町の近くには、町ごとの特性や、かつての人々の暮らしがわかる建造物が今も残されています。情緒あふれる町並みを歩きながら、近世から現代にかけて受け継がれる歴史的な建物を訪れてみましょう。



## 町の歴史が生んだ名建築「豊郷小学校旧校舎群」

豊郷出身の近江商人として成功を取めた古川鉄治郎氏によって、1937年に寄贈された小学校。学校建築の最高峰といわれ、長年にわたり賞賛され続けています。設計は、日本で暮らし活躍したアメリカ建築家、ウィリアム・メレル・ヴォーリズによるもの。滋賀県を拠点に活躍したヴォーリズは、欧米と東洋のデザインを融合させた独自の建築で知られ、現在も多くの作品が大切に保存されています。かつて小学校だった建物は、現在は地域のコミュニティセンターとして複合的に利用されており、人気アニメのモデルと言われていることから、アニメファンの“聖地”として愛され続けています。2013年には国の登録有形文化財に登録されました。

### 豊郷小学校旧校舎群

TEL 0749-35-3737  
住所 滋賀県犬上郡豊郷町石浜518番地  
WEB http://toyosato-kankou.jp

開館時間 9:00~17:00  
休館日 12月29日~1月3日  
料金 無料



## 現存する最大級の休泊施設「草津宿本陣」

江戸時代、本陣は宿場町で最も格式の高い休泊施設でした。ほとんどの宿場町には少なくとも1軒以上の本陣があり、大名や公家、幕府の役人など特権階級の人々が利用する施設でした。中でも草津宿本陣は、現存する本陣としては日本最大級を誇り、約4,300平方メートルの広大な敷地に39室あまりの部屋を備えます。建物は当時の姿そのままに大切に保存されており、1949年に国の史跡にも指定されました。施設内には、かつてこの場所に休泊した歴史的に有名な人々にまつわる貴重な資料も残されています。

### 国指定史跡草津宿本陣

TEL 077-561-6636  
住所 滋賀県草津市草津一丁目2番9号  
WEB http://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku/

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
休館日 毎週月曜(月曜日が祭日の場合はその翌日)、  
祝日の翌日(土・日曜と重なった場合は開館)、12月28日~1月4日、  
その他教育委員会が必要と認められた日  
料金 一般240円、大学・高校生180円、小・中学生120円



## 近江商人の暮らしが体感できる豪邸「五個荘近江商人屋敷」

中世から近代にかけて活躍し、豪商へと出世していった近江商人の本宅。「近江商人発祥の地」といわれる五個荘には複数の屋敷が現存しており、漆喰の白壁と、古い木造船の廃材を使用した舟板塀が特徴です。質素な主屋と対照的に造られた豪華な客殿、川の水を取り入れた川戸と呼ばれる水屋、回遊式の庭園など、近江商人らしい思想や生活の工夫が随所に見られ、調和のとれた美しい町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

### 五個荘近江商人屋敷

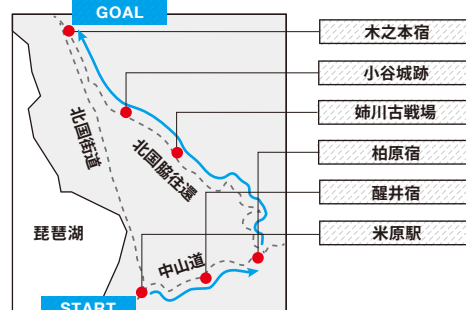
TEL 0748-48-3399  
住所 滋賀県東近江市五個荘金堂町  
WEB http://www.higashiomi.net/watch/1695.html

開館時間 9:30~16:30  
休館日 月曜日(祭日を除く)、祝日、12月28日~1月4日  
料金 外村邸(外村家)600円、中江五郎邸(中江家)600円、大井邸(大井家)300円、小川邸(小川家)100円

## ピワイチ - 古道をゆく 中山道と北国街道 -



滋賀県の内陸部をテーマで巡る「ピワイチ・プラス」もオススメです。今回紹介するのは、京都と江戸を結ぶ中山道と北国街道を結ぶ近道、北国脇往還を通るルートです。米原駅をスタートして中山道をたどれば情緒ある宿場町の醒井宿や柏原宿を巡り、さらに先には、戦国時代に壮絶な戦いが繰り広げられた姉川古戦場、浅井長政ゆかりの小谷城跡など次々に歴史的な舞台が登場します。滋賀の歴史遺産を存分に楽しめるコースです。



## ピワイチ BEST SHOT!!



QR codes for: ピワイチサイクリングナビ, びわこ一周レンタサイクル, 公益財団法人びわこビジターズビューロー

FREE volume 6

# COOL SHIGA

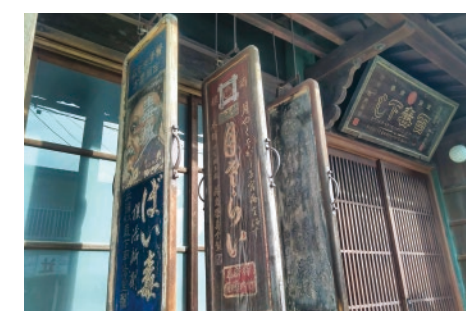
## 木之本宿 街道沿いで栄えた醸造の街

## 旅人が運び、各地で根付いた滋賀の文化

## 街道の歴史を伝える建造物

## イベントスケジュール

木之本の醤油蔵、ダイコウ醤油の店先に展示されている大きな杉樽。



近江の主要な街道(上) 街道沿いにある古い薬屋の看板(下)

## 街道 文化を運んだいにしへの旅路

雪がちらつく1月の初旬、まるで数百年前にタイムスリップしたような情緒ある街並みの中、築200年を超える蔵の奥で、醤油の仕込みが始まります。

かつて近江と呼ばれた滋賀県は、江戸と京を中心に全国に伸びる交通路「街道」が数多く通る交通の要所でした。古くは、「近江を制する者は天下を制す」と言われたほどです。木之本宿や草津宿大津宿など、旅の拠点となる「宿場町」がたくさんあり、日本中の人や物、情報が行き交う

宿場町では様々な文化が混じった個性的な街並みが形成されています。

また、多くの人々に賑わった宿場町では醤油蔵、酒蔵などの商家が栄え、そこで作られた商品や、日本中から集まった各地の名産品が近江の地を通じて全国に運ばれていきました。街道や宿場町には古い街並みが残っており、当時から続く老舗が現在も営まれています。

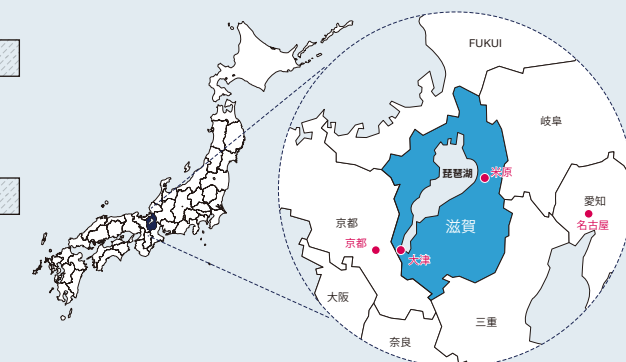
continued inside →

## 滋賀県について

日本列島のほぼ中央、古都京都の北東に位置する滋賀県。日本最大の湖「琵琶湖」を有する滋賀県では、水と共に生きる人々の知恵から生まれた独特の食文化、産業、暮らしが古くから培われてきました。豊かな水と自然が織りなす美しい風景は多くの芸術家を魅了し、また交通の要所としても栄えたこの地には、歴史ある寺社や城跡など、情緒ある町並みが大切に保存されています。

## Easy Access from Kyoto!

新幹線: JR京都駅からJR米原駅まで20分, 名古屋駅から米原駅まで27分  
在来線: JR京都駅からJR大津駅まで9分



# 木之本宿

街道沿いで栄えた醸造の街

## 宿場町の雰囲気を残す古い街並み

街道沿いには、旅人を宿屋に泊めたり、商人が運んできた物資を取り次いだりする「宿場」が置かれ、「宿場町」と呼ばれる商業集落が栄えました。

滋賀県長浜市にある木之本宿では、創業数百年を超える商家が現在も営まれており、そのうち富田酒造、山路酒造は全国の造り酒屋の中でも上位10軒に入るほどの長い歴史を誇ります。木之本の地は、伊吹山系からの伏流水が豊富なこと、冬の寒さが厳しいこと、街道沿いで原料が手に入りやすかったことなどから、古くから酒蔵や醤油蔵などの醸造業が栄えてきました。

また、北陸と近畿を結ぶ「北国街道」の宿場町であった木之本宿では、双方の文化が混じり合ってきた独特の風景を見ることが出来ます。建物に見られる「黒漆喰壁」や、雪の多い地域で軒先の雪対策として梁や腕木を突き出して軒を深くした「出し桁造り」がその特徴です。街道沿いには古い商家の建物が軒を連ね、通りに面した店舗の奥に、商品を製造する蔵や住居を構える非常に奥行きが深い造りになっています。

KINOMOTO TOWN (木之本町)



## 豊かな水と人々の想いがつないだ文化

和食に欠かせない、醤油。日本の伝統調味料である醤油は、付け、かけ、煮炊き全てに使える万能調味料です。大豆、小麦、塩を原料とする発酵食品で麹菌などのさまざまな微生物たちの働きによって熟成されます。

木之本で醤油づくりを行うダイコウ醤油は、1852年創業の老舗。現在、醤油の製造から販売までを一手に担うのは六代目の大杉憲輔さんです。「大豆を蒸すところから麹づくり、瓶詰めまで全てを自社で行っています。自社で一から



ダイコウ醤油六代目の大杉憲輔さん（左上）。醤油は主に溜口、薄口、たまりの3種類。用途で使い分けられる（右上）。湧水をたたえる中庭の井戸（左下）。昔ながらの商家の趣を残す木造の店舗（右下）。

やっている作り手は、全国でもかなり少なくなりました。醤油は樽の中で2～3年間発酵させるのですが、うちは杉の樽を使用しています。大量生産をするメーカーなどではFRPや樹脂のタンクが使われますが、杉だと香りもつくし、空気が通るので発酵の仕方が違ってまろやかで旨味のある味になります。樽を置いているもろみ蔵の柱や壁には何百種類もの酵母菌や乳酸菌が棲んでいて、それらの微生物が、うちの醤油の味を決めています。創業当時



街道沿いに立てられた「北国街道」の石碑。多くの参拝客で賑わう木之本地蔵院。

からずっと棲んでいる微生物、気候や環境、受け継がれてきた製法など、蔵の歴史がそのまま醤油の味になっているんです。

ダイコウ醤油の建物は、200年以上前に建てられたもの。玄関の正面付近にある太い「通し柱」が特徴です。老朽化した柱を継ぎ直すなどして大切に維持されてきた建物は、2019年11月に国の登録有形文化財に登録されました。「かつてはこの辺りの家はほとんどが商家でした。今は少なくなりましたが、残っているのは醸造業が多いです。木之本の湧き水は柔らかい味がして、醸造に向いています。昔は店の前を通る街道に川が流れていて、川沿いに生えた柳の木に旅人が馬をつないで宿で一泊していくというのが日常の風景だったそうです。木之本は街道沿いに発展した町なので、古いお店や家など、昔ながらの建物が街道沿いに連なって建っています。1軒だけなら存続させようとする力も弱いけれど、何軒も集まっていることで、昔ながらの雰囲気や景観をみんなで残していこうという思いがあります。地域のつながりが強く、春は火の神様に祈る『秋葉祭』、夏は数万人の観光客が訪れる『地藏盆』、冬は厄年の人が除夜の鐘をついて走る独特の行事など、季節ごとにお祭りや行事が盛んに行われています。

**ダイコウ醤油**  
TEL 0749-82-2012 住所 滋賀県長浜市木之本町木之本1197  
EMAIL info@daikou-shoyu.com 営業時間 9:30～18:30  
WEB http://www.daikou-shoyu.com 定休日 不定休

# 旅人が運び

各地で根付いた滋賀の文化

## 東海道のお土産として親しまれた「大津絵」

大津絵は、今からおよそ400年前に滋賀県大津市で生まれた民俗絵画です。こうした無名の絵師や職人により大量生産された絵は、民芸運動の創始者、柳宗悦により「民画」と呼ばれるようになりますが、現在、日本で商業として残っている民画は大津絵のみ。かつては「東の浮世絵、西の大津絵」といわれ、江戸時代の二大民画として人々に親しまれました。

代表的な絵柄のひとつ、鬼が衣を着て念仏を唱えている「鬼の寒念仏」は300年以上前にできた絵で、当時から現在に至るまでいつの時代も変わらぬ人気を誇ります。本来は「いくらお坊さんの格好をしていても、中身が伴っていないと鬼にしか見えませんよ」という偽善を戒める意味のある絵ですが、関東や東北に持ち帰られると、厄除けのために逆さにして飾られたり、夜泣き防止のために子ども部屋に貼られたりと、地域ごとの解釈でさまざまな意味を持って使われたそうです。

他にも「藤娘」は浅草の浅草寺で売られている護符に描かれていたり、祭りのモチーフになっていたりと、街道を通じて日本中に広まった大津絵は、各地の文化と融合しながら今も人々の暮らしに根付いています。



かつての街道の雰囲気をおぼせる風格ある店構え（左上）。初代が建てた旧店の古材を再利用し、建て直した現在の店舗（左下）。五代目の高橋信介さん。制作には7色の泥絵の具を使用する（右）。

**大津絵の店**  
TEL 077-524-5656 住所 滋賀県大津市三井寺町3-38  
WEB http://www.otsue.jp 営業時間 10:00～17:00  
定休日 第1第3日曜日

## 日本を股に掛けた商人集団「近江商人」

中世から近代にかけて、滋賀県から全国各地に通じる街道を縦横無尽に行き来して活躍したのが「近江商人」です。天秤棒の両端に特産品などを下げて売り歩くのが典型的な行商スタイルで、江戸、大阪、京都などに進出して大商店を運営するほどの成功を収めました。

近江商人の理念である「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」は、今も企業家達の間に基づいており、現代日本を代表する大企業の中には、近江商人をルーツとするものも数多くあります。



300年にわたり大津絵の代表として親しまれる「鬼の寒念仏」。

## 有名画家にも愛されたユーモラスな画風

現在、大津絵の絵師は五代目高橋松山を名乗る高橋信介さんただ1人。「大津絵が生まれたのは、東海道を使って旅をする人が急激に増えた時代。京への出入り口付近にあった大津宿は、日本でも有数の人通りが多い場所として賑わっていました。当時、高価で庶民が手にすることのできなかった仏像の代わりに、簡易な仏画を描いて売られるようになったのが大津絵の始まりです」腐らず壊れずかさばらない大津絵は、旅のお土産に最適だったでしょう。時代の流行に沿って、さまざまな絵柄が描かれるようになりました。「大量生産するために絵を単純化し、1人の職人が複数枚を同時進行で描く手法が確立され、キャラクターが前面に出たユーモラスな味わいのある絵が完成されました。著名な画家達にとっても大津絵は魅力的だったようで、伊藤若冲が描いた藤娘が残っていたり、ピカソやミロが大津絵を所有していたという記録が残されていたりします」庶民から有名画家にまで親しまれた愛嬌のある大津絵は、現代の日本が誇るアニメ文化にも通じているのかもしれない。



天秤棒一本あれば行商をして財をなす、といわれた近江商人の姿。

# EVENT SCHEDULE

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

## 2020年1月・2月・3月の滋賀県内イベントスケジュール

### ちょっと昔の道具たち2020



昔の人々の暮らしを、当時使われていた道具を通じて紹介する企画展。少し前まで当たり前のように使われていた道具たちは、大人には懐かしく、子どもには珍しく感じられるでしょう。

**JAN-FEB**  
**日付** 2020年1月5日(日)～2月23日(日)  
**時間** 10:00～18:00 【休館日】月・火曜日、1/15(水)、1/24(金)、2/12(水)  
**場所** 東近江市能登川博物館(東近江市山路町2225)  
**料金** 無料  
**TEL** 0748-42-6761  
**WEB** <https://e-omi-muse.com/notohaku/>

### 2020東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル -2020グランドオープニング-



石見神楽・いわみ福祉会芸術クラブ (出演予定団体)

障害者の文化芸術活動などが一堂に会するイベント。アール・ブリュット展やバリアフリー映画、体験イベントなど、さまざまな障害者の文化芸術に触れることができます。

**FEB**  
**日付** 2020年2月7日(金)～2月9日(日)  
**時間** 9:00～19:00 (各プログラムにより時間は前後する。)  
**場所** びわ湖大津プリンスホテル(大津市におの浜4丁目7-7)  
**料金** 3日間共通バスポート:2,000円。同時通訳機器貸出料:1,000円(2日間)  
 単独チケット:500円(展覧会のみ、ワールドフォーラムのみなど1プログラム対象)  
 ※チケット詳細は問合せ先まで  
**TEL** 0748-46-8100 問合せ先まで  
**WEB** <https://artbrut-creation-nippon.jp> **英語を話せるスタッフ** **英語看板** **英語パンフレット**

### 第28回下田春美バレエ教室発表会



創立43年を迎える「下田春美バレエ教室」の第28回発表会。今年は「くるみ割り人形」全幕と小品集を、子どもから大人まで総勢100名を超える出演者で発表します。

**FEB**  
**日付** 2020年2月2日(日)  
**時間** 14:00開演予定  
**場所** 大津市民会館・大ホール(滋賀県大津市島の関14-1)  
**料金** 入場無料 自由席。整理券がなくても入場できます。  
**TEL** 077-516-1884  
**WEB** <http://www.sh-ballet.com> **英語を話せるスタッフ**

### 第59回滋賀県書き初め展覧会



全国から公募された大人から子どもまで、約5200点の書き初め作品を展示。子どもらしくかわいらしい作品や技巧を凝らした創作作品など、幅広い滋賀の書道が集結します。

**FEB**  
**日付** 2019年2月6日(木)～9日(日)  
**時間** 9:00～17:00 最終日15:00まで  
**場所** 大津市歴史博物館(大津市御陵町2-2)  
**料金** 無料展覧会  
**TEL** 080-2543-0789  
**WEB** <http://www.syodo.or.jp> (公社)滋賀県書道協会

### 第61回企画展 「安土・桃山時代の近江展—琵琶湖文化館収蔵品を中心に—」



楳図 海北友松 滋賀県立琵琶湖文化館蔵

滋賀県の歴史と文化を語る上で欠かすことのできない「琵琶湖文化館」。その収蔵品のうち、安土・桃山時代の優れた文化財などにスポットを当てて紹介します。

**FEB-APR**  
**日付** 2020年2月8日(土)～4月5日(日)  
**時間** 9:00～17:00(入館は16:30まで)。月曜閉館(祝日の場合は次の日)  
**場所** 滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室(近江八幡市安土町下豊浦6678)  
**料金** 大人600(480)円、高校生360(290)円、小中学生無料  
 ※( )内は20人以上の団体料金。  
**TEL** 0748-46-2424  
**WEB** <http://www.azuchi-museum.or.jp> **英語パンフレット** **英語看板** **無料Wi-fi**

### 「土から生まれた」展



澤田真一 《お面》 2014年 滋賀県立近代美術館蔵

滋賀県立近代美術館がリニューアルのための休館中に開催する出張企画展の第4弾。「土」をテーマに、滋賀県内の福祉施設における造形活動の歴史から生まれた陶芸作品を紹介します。

**FEB-MAR**  
**日付** 2020年2月15日(土)～3月22日(日)  
**時間** 9:00～17:00(最終入館16:30)。月曜休館(月曜が祝日の場合はその翌日)  
**場所** かわらミュージアム(近江八幡市多賀町738-2)  
**料金** 一般300円(10人以上団体250円)、小・中学生200円(同150円)  
**TEL** 077-522-2111  
**WEB** <http://www.shiga-kinbi.jp> **英語パンフレット** **英語を話せるスタッフ**

### おうみ狂言図鑑2020



滋賀県を題材にした狂言で「笑い」と「近江」の魅力を発信する公演会。3/1は茂山千五郎家による「棒縛り」「蝸牛」「安土城ひみつ会議」、3/7は「菌」「因幡堂」「安土城ひみつ会議」を上演します。

**MAR**  
**日付** ① 2020年3月1日(日)、② 2020年3月7日(土)  
**時間** 14時開演(①②共通)  
**場所** ① 日野町市民会館わたくしホール虹(蒲生郡日野町松尾1661)  
 ② 東近江市てんびんの里文化学習センター(東近江市五個荘竜田町583)  
**料金** 一般:2,000円。25歳未満:1,000円。未就学児入場不可。  
 ※3/1公演は自由席、3/7公演は指定席。  
**TEL** ① 0748-53-3233(日野町市民会館わたくしホール虹)  
 ② 0748-48-7100(東近江市てんびんの里文化学習センター)  
**WEB** <https://www.biwako-arts.or.jp/rd/>

### テーマ展「漆芸の精華—江戸時代を中心に—」



古来から日本人の生活と密接な関わりがあった漆。本展では漆によって多彩に装飾された調度や楽器、馬具などの漆芸品を、江戸時代の彦根藩主、井伊家の伝来品から紹介します。

**MAR-APR**  
**日付** 3月7日(土)～4月7日(火)  
**時間** 8:30～17:00(入館16:30)  
**場所** 彦根城博物館(滋賀県彦根市金亀町1番1号)  
 ※当館専用の駐車場はありません。近隣の観光駐車場をご利用ください。  
**料金** 一般500円、小中学生250円 ※団体割引有  
**TEL** 0749-22-6100  
**WEB** <http://hikone-castle-museum.jp/>  
 ※当館の都合により、展示室の一部を休室または臨時休館することがあります。  
**英語パンフレット** **無料Wi-fi**

### 左義長まつり



丸太の骨組みに藁を付けて様々な飾り物を施し、干支にちなんだダシを据えた左義長。「組み合せ」と呼ばれる左義長同士のぶつかり合いが繰り広げられます。最後には奉火され火祭りのクライマックスを迎えます。

**MAR**  
**日付** 2020年3月14日(土)、15日(日)  
**時間** 14日13:00～18:00 15日10:00～22:40  
**場所** 日牟禮八幡宮(滋賀県近江八幡市宮内町257)  
**料金** 無料。予約不要  
**TEL** 0748-33-6061(近江八幡駅北口観光案内所)  
**WEB** <https://www.sagicho.net> **英語パンフレット** **英語を話せるスタッフ** **無料Wi-fi**

## BIWAKO HALL EVENTS



**TEL** 077-523-7136  
**住所** 大津市打出浜15-1  
**開館時間** 10:00～19:00  
**閉館日** 火曜日休館  
 休日の場合は翌日、12/29,30,1/1～1/3は休館  
**WEB** <https://www.biwako-hall.or.jp>

2020.1.18	二兎社公演43 『私たちは何も知らない』	中ホール
2020.1.19	古楽への招待11 イギリス・エリザベス朝の世界	小ホール
2020.1.25	山海塾 『ARC 薄明・薄暮』	中ホール
2020.2.2	びわ湖ホール名曲コンサート オール・ベートーヴェン・プログラム	大ホール
2020.2.11	アリーナ・コジョカル 〈ドリーム・プロジェクト2020〉	大ホール
2020.3.7,8	びわ湖ホールプロデュースオペラ ワグナー作曲 『神々の黄昏』	大ホール
2020.3.14	びわ湖ホール舞台技術研修～人材育成講座 『成果発表公演』	中ホール
2020.3.21	野村万作・野村萬斎狂言公演	中ホール
2020.3.22	子どものための管弦楽教室 第16回 『音楽のフロンティア』	大ホール
2020.3.28	びわ湖ホール声楽アンサンブル第70回定期公演	小ホール



びわ湖ホールは、国内有数の4面舞台を備えた大ホール、演劇向けの中ホールや、アットホームな小ホールを備えています。最新の設備と優れた音響、臨場感を追求した湖畔の芸術劇場からオペラ、バレエ、ミュージカル、クラシックコンサートや演劇など、多彩な感動のステージをお届けします。

びわ湖ホール公演スケジュール  
<https://www.biwako-hall.or.jp/performance/>

